

第 1 回総務企画専門委員会の審議結果について

標記専門委員会の第 1 回会議が平成 26 年 2 月 14 日に開催され、その結果は以下のとおりでした。

1. 日 時 平成 26 年 2 月 14 日(金) 10:00-12:00

2. 場 所 滋賀県大津合同庁舎 7-A 会議室

3. 委 員 次頁のとおり

4. 議事概要

(1) 委員長・副委員長の選出

(2) 説明・報告事項

国民体育大会の概要、国体開催準備経過、開催準備委員会の決定事項について事務局より説明を行うとともに、本専門委員会の主な審議事項のスケジュールについて【資料 1】により確認を行った。

(3) 審議事項

①第 79 回国民体育大会会場地選定に関する基本的な考え方について【資料 2】

②第 79 回国民体育大会競技施設基準(暫定版)について【別冊資料】

資料により事務局から説明、承認を得た。

また【資料 3】により今後の会場地選定スケジュールについて確認を行った。

5. 主な質疑・意見

- ・ 会場地選定を進めるには、市町への財政面での支援内容の提示が必要。
→ 具体的な支援対象等について、先催県の例も参考にしながら、できるだけ早期に市町に提示できるようにしたい。
- ・ 公開競技・デモンストレーションスポーツで実施する競技はどのように決まるのか。
→ 来年度設置予定の競技運営専門委員会で協議し選定する予定。
- ・ 各種団体は国体に向け独自の準備活動を展開するのか、県から協力依頼があるのか。
→ 各団体からの提案をお受けすることも、協力をお願いすることもあると考えるが、具体的な取り組みは「開催基本構想」の審議の中で議論願いたい。
- ・ デモンストレーションスポーツは、障害のある人も一緒にできるスポーツの普及も考慮して実施競技を選定されたい。
- ・ 市町が施設整備を計画する場合、合併特例債を活用した事業として位置付けることのできるタイミングも重要。

総務企画専門委員会 委員

(順不同:敬称略)

選 出 区 分	機 関 ・ 団 体 名 お よ び 役 職 名	氏 名	
市 町 関 係	滋賀県市長会 事務局長	中村 恒晴	
	滋賀県町村会 事務局長	中村 富士男	
ス ポ ー ツ 関 係	公益財団法人滋賀県体育協会 常務理事	増田 和貴	委員長
	滋賀県高等学校体育連盟 監事	辻 雅代	
	滋賀県中学校体育連盟 副会長	中川 一彦	
	滋賀県スポーツ推進委員協議会 理事	嘉悦 和子	
	滋賀県障害者スポーツ協会 理事	太田 千恵子	
医 療 ・ 福 祉 関 係	滋賀県健康推進員団体連絡協議会 副会長	柴田 恵美子	
産 業 ・ 経 済 関 係	滋賀県商工会議所連合会 専務理事	沢井 進一	副委員長
	滋賀県商工会連合会 専務理事	廣田 由行	
学 識 経 験 者	滋賀県スポーツ推進審議会 (龍谷大学 経営学部 准教授) 委員	松永 敬子	
県 関 係	総合政策部企画調整課 課長	川崎 辰巳	
	総務部管理監(市町振興課長事務取扱)	福永 忠克	
	商工観光労働部観光交流局 副局長	山崎 薫	
	教育委員会事務局スポーツ健康課 課長	中井 敏勝	

総務企画専門委員会の主な審議事項のスケジュール

年 度	開催手続	総務企画専門委員会			
		全体	会場地選定	施設整備	
平成25年 (2013年)	11年前	内々定	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 付託事項 本委員会で案を作成後、 常任委員会で決定する事項 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 委任事項 本委員会で 決定する事項 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 会場地選定に関する 基本的な考え方 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 競技施設基準 </div>	
平成26年 (2014年)	10年前		<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 開催準備総合計画 (必要に応じて変更) 県および会場地市町 の業務分担・ 経費負担細目 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 会場地の選定(正式競技・特別競技) </div>	
平成27年 (2015年)	9年前				
平成28年 (2016年)	8年前				
平成29年 (2017年)	7年前		開催基本構想の検討 ↓		
平成30年 (2018年)	6年前	中央競技団体 正規視察	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 開催基本構想 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 会場地の選定(公開競技) </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 競技施設 整備計画 (必要に応じて変更) </div>
平成31年 (2019年)	5年前	開催申請書 の提出 内 定		<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 会場地の選定(デモスポ) </div>	競技施設 整備 ↓
平成32年 (2020年)	4年前				
平成33年 (2021年)	3年前	会場地総合視察 (日体協・文科省) 決 定	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 文化プログラム 実施計画 </div>		
平成34年 (2022年)	2年前		文化プログラムの準備推進 ↓ 情報通信 基本計画 ↓ 計画の推進		施設整備 (改修・修繕)完了
平成35年 (2023年)	1年前	各リハーサル 大会			
平成36年 (2024年)	開催年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> 文化プログラムの実施 </div>			
第79回国民体育大会 ・ 第24回全国障害者スポーツ大会					

第79回国民体育大会 会場地選定に関する基本的な考え方について

1 会場地選定に係る基本事項

- (1) 第79回国民体育大会会場地市町選定基本方針（第1回常任委員会決定）
- (2) 第79回国民体育大会会場地市町選定基準（第1回常任委員会決定）

2 会場地を選定する競技

- (1) 正式競技、特別競技
競技会開催に向けて必要な準備期間を確保するため、できるだけ早期に選定していくこととする。
- (2) 公開競技、デモンストレーションスポーツ
競技団体の開催意向を踏まえた上で、正式競技、特別競技の会場地の選定後に選定していくこととする。
※実施競技については、4年ごとに見直しが行われているため、本県が開催予定の第79回大会の実施競技は未定（平成27年に選定予定）。よって、現時点では第74回大会から第77回大会で実施される競技を前提に会場地を選定していくこととする。
※陸上競技会場は主会場選定専門委員会で別途選定することとする。

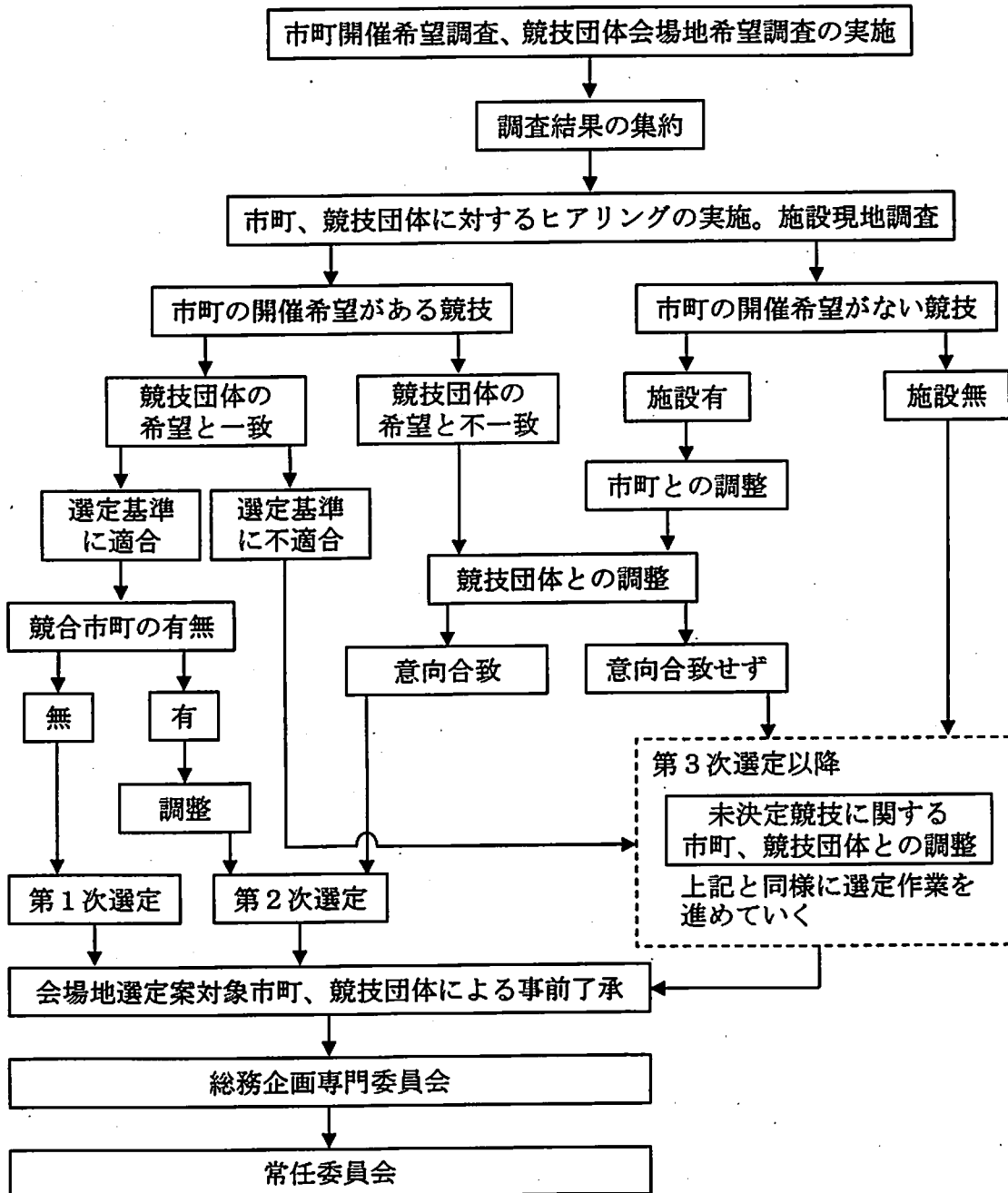
3 正式競技、特別競技の会場地選定の進め方

- (1) 市町開催希望調査、競技団体会場地希望調査の実施
市町、競技団体（正式競技、特別競技）を対象に実施する。
- (2) 市町、競技団体に対するヒアリングの実施
調査結果を踏まえ、市町および競技団体の意向の詳細ならびに競技会開催に向けての考え方等を聴取する。
- (3) 第1次会場地選定案の作成
市町と競技団体の希望が合致したものについては、開催に必要な施設、交通、宿泊など選定基準の適合を確認した上で、競合市町のないものを第1次会場地選定案とする。
この時点で選定されなかった競技については、第2次会場地選定に向けて、市町や競技団体との調整に入る。
- (4) 第1次会場地選定案の対象市町、競技団体による事前了承
第1次会場地選定案として選定された競技については、会場地となる市町および当該競技団体に事前に文書で了承を得る。
- (5) 第1次会場地選定案の審議
総務企画専門委員会にて審議する。
- (6) 第1次会場地の決定
常任委員会にて審議、決定する。

(7) 第2次選定以降の進め方

第1次選定に向けて実施した調査やヒアリングの結果を踏まえ、市町および競技団体と次の選定に向けたヒアリングを行うなど、協議、調整を行うこととする。また、開催希望の変更についても次の選定に向けたヒアリング等で確認することとする。

【会場地選定フロー】



4 公開競技、デモンストレーションスポーツの会場地選定の進め方別途提示することとする。

第79回国民体育大会
 主会場以外の会場地選定スケジュール（第1次選定までの予定）

